

2024年7月1日発行



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

7 2024
July
No.300<http://www.pt-kanagawa.or.jp>

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[2024.6.1現在] 5,709名

Contents

P1▶巻頭言 P3▶災害対策部報告 P4▶ライフサポート部報告 P6▶新人教育部報告
P7▶生涯学習部報告 P8▶広報部取材報告 P9▶総務部報告 P10▶会長行動報告
P11▶研修会・講習会 P12▶information P13▶原稿送付先／編集後記

巻頭言

横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション部 前田 拓

神奈川県DWATとしての災害支援活動の経験



令和6年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生しました。この地震で、家屋の倒壊や土砂崩れ、輪島市では大規模な火災が発生するなど大きな被害をもたらしました。

した。

今回、私は神奈川県DWAT（災害派遣福祉チーム）の一員として、3月に石川県輪島市の避難所で支援活動の経験をしたので、活動報告と実際の活動を通して感じたことを伝えられたと思います。

DWATとは、「Disaster Welfare Assistance Team」の略で、災害時に派遣される福祉支援チームのことです。発災時に高齢者、障がいを持った方、子どもなど、特別に配慮を要する者「要配慮者」の福祉ニーズを把握し、避難生活における生活機能の低下などの防止を図りながら早期自立生活の再建、復興を支援します。神奈川県DWATには神奈川県理学療法士会から20名が登録されており、令和6年能登半島地震では私を含めて2名の理学療法士が派遣されました。

私が輪島市に派遣されたのは発災から2ヶ月

半経過した3月中旬。避難所から応急仮設住宅などへ被災者の生活の場が変わるフェーズに差し掛かっていましたが、行政においても未だに要配慮者の把握が出来ていない状況でした。そこでDWATが介入し、避難所にいる要配慮者を把握、アセスメントをして市へ情報提供することで被災者の生活の場が変わった後も支援が継続される体制を整備することを目標に活動しました。

実際の活動として、4日間避難所に滞在しながら、避難者が設置された相談ブースに足を運ぶ、あるいは避難所内を巡回して避難者に声掛けをするといった2つの方法で避難所内の全避難者のスクリーニングをし、要配慮者の把握、アセスメントを行いました。アセスメント後は、要配慮者が具体的にどのようなことで困っているのか、どんな支援が必要そうなのかをまとめたアセスメントシートを作成し、市へ情報提供を行いました。

今回の支援活動を通じて感じたことは、4日間という短い期間でしか関われない難しさでした。福祉ニーズを解決するというのは、その場しのぎではなく、中長期的に支援が必要になるものだと思います。今回の支援では、避難所内の要配慮者のアセスメントが主な活動となったため、私たちの活動だけでは「福祉ニーズの解決」には至ら

巻頭言

ず、今後、地域主導の支援に移り変わっていくときに、要配慮者への支援がスムーズに行われるような情報を提供していく必要があると強く感じました。

また、DWAT という福祉チームに理学療法士が参加するメリットとして、避難所生活から自宅や仮設住宅へ生活の場が変わる場面で、専門性を活かして今後の生活について具体的にイメージを持って支援ができることだと感じました。入院生活から退院後の生活を想像しながらのリハビリテーションは普段の臨床において、当然のこととして展開されているかと思っています。

DWAT に参画している介護・福祉職よりも、この部分で理学療法士にはアドバンテージがあり、要配慮者に対してより具体的なアセスメントができるため、ニーズに沿った有効な支援にも繋がるのではないかと考えています。

最後に、今回が私も初めての災害支援活動でした。被災地に行くまでは、自分に何ができるのかとても不安でしたが、日々の臨床経験を活かせることもでき、いち支援者として被災地の力になれることはたくさんあると思いました。本稿が災害対策活動に関心を持つきっかけになることを願います。



有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市長区笠岡三丁目 40 番 5 号
TEL045-892-5424 FAX045-894-2580 www.kimura-gishoo.jp



株式会社エヌ・エフ・エーは
保険を通じて暮らしやビジネスを

サポートします



株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015
東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階
TEL.03-5818-0711 (代表) FAX.03-5818-0710
<https://www.nfa-ins.co.jp>

第13回 災害対策研修会 開催報告レポート

本会事務局災害対策部では、2024年5月18日（土）に、第13回災害対策研修会を開催いたしました。テーマを「令和6年能登半島地震 災害支援活動報告」として、神奈川DWAT（災害派遣福祉チーム）に参加した2名の部員から石川県輪島市での支援経験を報告していただきました。

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、要配慮者支援に関する体制が課題となりました。特に中能登、奥能登エリアに該当する市町村では、高齢化率が50%を超える地域も多く、持続的な支援が不可欠です。神奈川県では災害時の福祉支援として神奈川DWATが設置されており、本会も積極的に参画しています。本研修会では、被災地の状況や災害リハビリテーション支援活動からみえてきた課題を共有し、今後に生かしていくための検討を行いました。避難所の整備状況や運営体制の見直し、避難所と福祉避難所の連携強化、災害時の保健医療と福祉の情報共有および情報連携などを検討いたしました。

講師の西谷氏と前田氏から、日々刻々と変化する状況に対応するための臨機応変な心構えや、地域性を理解し配慮した活動、地域主導の支援の重要性を強調していました。また、行政の負担軽減や要配慮者の把握など、平時から必要な支援体制

も重要な課題となっていました。これらの視点を踏まえ、現地のニーズに合った最適な支援を提供することが求められます。

自由討議では、「災害支援活動の経験からどのような準備をすべきか、地域でどのような支援ができるか」というテーマで活発な意見交換が行われました。作業療法士やさまざまな職種の立場から、平時の準備や行政との連携方法、職場内での周りのスタッフへの理解促進などについて具体的な内容も確認することができました。これらの討議を通じて、災害対策として平時から取り組むべき内容について、具体的な方向性や改善点も明確になりました。

本研修会を通して、具体的な事例や経験を共有し、参加者全員が災害対策の重要性を改めて認識することができたのではと思います。理学療法士として災害時に貢献する方法に関しても深く考える機会となりました。

今後も本会災害対策部では、平時から災害時の要配慮者支援ネットワークづくりに取り組み、地域社会に貢献していきます。災害対策研修会を通じて、要配慮者支援の重要性を再認識し、取り組みをさらに強化していきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



今年度の ライフサポート部活動予定

ライフサポート部
活動報告 第83報
職場環境を考える

ライフサポート部は、だれでも起こりうる出産・育児、介護、病気等による就業継続の問題を中心に支援できることを考え、調査・情報提供及び研修会等を開催しています。今年度は新しい部員を2人迎えることができました。新しい意見を取り入れて、少しでも役立つ活動ができればと思っています。以下に今年度の活動予定をお知らせします。

Action ① みなさんと働き続けるための職場環境について考えたい！

今年度も、研修会をグループディスカッションとセットで開催します。皆さんの実際のお困り事や具体的な対策を共有し、働き続けるため大事なことを考え続けていきたいと思っております。今年度の研修会＆交流会は2回予定しています。

■「妊娠中の身体の変化」を知って妊娠しても働き続ける職場について考えよう！

日時：令和6年9月8日（日）

13：00～16：00

講師：杉山さおり氏（Good Posture：理学療法士）

参加形式：オンライン（Zoom）

内容：妊娠するとお腹が大きくなる以外にも、妊娠初期からダイナミックにからだは変化します。正しい知識をアップデートし、妊娠しても安全に働ける職場について一緒に考えていきましょう。



参加費：神奈川県理学療法士会会員は無料

申込み締切り：8月31日

（PT協会のマイページからお申し込み下さい）

■「パパPTの育休」皆さんはどうしてますか？ （テーマ・内容未定）

例年は「働き続けるためにコミュニケーションを見なそう！」シリーズとして心理学の専門家にコミュニケーションスキルの基本と、職場で生じたコミュニケーションの問題をどのように考えればいいのか具体的に教えていただきました。今年度はシリーズを続けるのか、どのような切り口で開催するのかこれから検討します。できれば、今年度は「パパの育休」について情報交換したいと思っています。今は妊娠、出産しても復帰するのが多数派で、パパの育休取得も制度上は推進されています。子育て世代、そして全世代で今時の働き方について一緒に考える機会にしたいです。

Action ② 復職したい人を応援したい！

■復職支援実務研修

コロナ禍で相談事業のみとなっていた復職支援事業ですが、今年度から現場での研修を復活させます。離職して復職に不安になっている方は、実際に現場に行ってみることで復職までの課題が具体的にってきます。思い切って現場にいらしてみませんか？研修に協力してくれる施設も募集しております。詳しくはホームページをご覧ください。



←県士会ホームページ「ライフサポート部」はこちらからアクセスできます。

活動報告Ⅱ ライフサポート部

研修対象者：離職中の理学療法士（非会員も参加可能ですが復職時には復会をお願いします）離職理由は問いません。復職先が既に決まっている方は対象となりません。

内容：ご希望の職域での現場の見学、実習をコーディネートします。研修期間は1日～最大5日間、参加費1日あたり1,000円。詳細はホームページをご確認下さい。研修会の体験記がホームページのライフサポート部活動報告（第63・57・52・49・40報）に掲載されています。この研修に興味のある方は是非読んで見て下さい。

Action ③ 情報を共有したい！

■ X（旧 Twitter）でこれまでの活動を毎週2回発信しています。

このニュースを読んでもくださる方には、復職支援・就業継続支援の取り組みを知って頂いている

ことと思います。一方で、離職して、一人で不安を抱えておられる方には、情報が届きにくいことが、課題として挙がっています。そこで、県士会、ライフサポート部の支援活動について知るきっかけを作る目的で、Xを活用しています。これまでの調査報告などの掘り起こしから、最新の活動内容までつぶやいていますので、是非フォローをお願いします！！

→→→→→→→→→→→→→→→



■ホームページの情報更新をする！

ホームページのライフサポート部のページには、これまでの調査報告やニュース原稿で報告した内容（体験談、研修会の報告、コラムなど）や、妊娠前後に必要な情報などを掲載しています。少しでも見やすく、少しでもお役に立てる内容にしたいと掲載内容の検討を続けています。

有限会社 足柄リハビリテーションサービス Ashigara Rehabilitation Service

地域でつながる、明日へつなげる... あなたの手もつなぎませんか

通所介護 訪問看護

スタッフ募集中・施設見学受付中

県西エリアの住民生活を支えます

放課後等デイサービス

ソーシャルワーク拠点

小規模多機能

お気軽にお問い合わせください！

ARSホームページ <https://ashigara-reha.jp/>

総案内 本社 TEL:0465-39-3730 FAX:0465-37-5740

〒250-0853 小田原市 堀之内 218-3

ARS訪問看護リハビリステーション

小田原市 堀之内 218-3

地域リハビリテーションセンター ふらっと

小田原市 堀之内 253-1

地域リハビリテーションセンター Well

小田原市 久野 469

地域リハビリテーションセンター ふらっと湯河原

足柄下郡 湯河原町 土肥 1-13-3

しあわせサービス

足柄上郡 松田町 松田惣領 1249

Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています

NIHON WHEELCHAIRS
日本ウイール・チェア株式会社
<http://nwc-kurumaisu.com/>

NIHON WHEELCHAIRS
日本ウイール・チェア株式会社
<http://nwc-kurumaisu.com/>

所属機関の管理者・ 教育担当者の皆さんへのご連絡

1. 前期研修 D（実地研修）の実施について

今年度入職された新入職員は、前期研修が開始されています。実地研修 D（48 時間）を積極的に開始していただけますよう新入職員にお声かけをお願い致します。2020 年に実施した PT 協会のアンケートでは、施設独自の研修を実施していないとの回答やマニュアルがない状態での研修が実施されている施設が 6 割を占めていたことが明らかになりました。マニュアル（ガイドライン）作成することで、新入職員がどこを目指していけば良いか明確になります。もし施設独自のマニュアルをまだ作成されていない施設は、D-1：口で用いられる協会が作成した研修ガイドラインを参照して進めてください。このガイドラインは、入職後およそ 1 年以内に新人理学療法士職員が到達すること

が望ましいと考えられる標準的なものを参考として例示しています。院内の研修を見直したい場合もこの研修ガイドラインは参考になると思います。

2. 後期研修 E（事例）を開催していただけていますか？

この研修では、必ず 30 分以上の症例検討を発表または聴講する必要があります（E-1～3）。本会新人教育部では、今年も年に各領域 1 回ずつ（6 月神経系、9 月内部障害系、12 月運動器障害系）、年に 3 回開催予定ではありますが、1 回の開催が 50 名と制限がありますので、参加する機会としては十分でないと感じています。そのため、各施設での 30 分以上の症例検討会を計画的に開催してください。

士会承認症例検討会の申請方法は、開催に際して、座長（登録理学療法士）がマイページから事前申請をすることになっています。本会では、開催予定の 2 週間前までに申請をお願いしております。また、入力フォームには症例検討の概要等、詳細についても入力をお願いします。記載内容が不十分であると判断された場合、承認できない場合がありますのでご注意ください。申請手続きについては、県士会 HP →生涯学習制度に掲載していますので、そちらを参考にしてください。

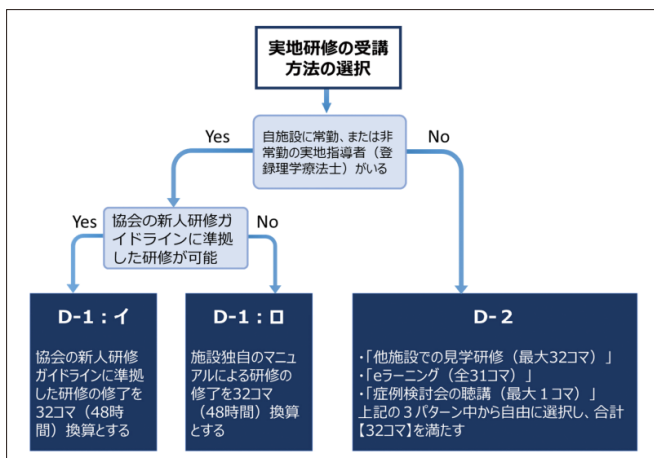


図 実地研修の受講方法選択のフロー図

今年度入会された会員へのご連絡

5 月に行われました新人オリエンテーションにおいて、新生涯学習制度の概要と前期研修と後期研修を中心にお話させていただきました。ご参加された皆様、ありがとうございました。1 回の聴

講で全ての理解は困難かと思います。同様の内容を本会の HP「生涯学習制度」→「新生涯学習制度の履修に関するご案内（2022/04/14）」の動画で分かり易く説明がありますので、こちらで繰り

活動報告Ⅲ 新人教育部

返しご確認くださいと思います。

早速、前期研修を始めたいと意気込んでいただいている新人の方もいらっしゃるかと思います。入会1年目の会員の前期研修A～Cは、9月から申請開始となります。今しばらくお待ちください。実地研修Dについては、各施設での新人研修プログラムがそれに該当します。開始時期や担

当の実地指導者等については、所属施設の施設会員代表者に確認して進めてください。これについては、既に申請をすることが可能ですので、マイページから受講申請をしてください。

前期研修についての情報は、PT協会のHPから確認することが可能です。

後期研修中の会員、前期研修中で実地研修をD-2で進められている会員へのご連絡

士会主催症例検討会を開催します

各施設で実施される「士会承認症例検討会」にて積極的にコマの履修を進めていただきたいと思います。施設内で開催ができない場合がありますので、今年度も士会主催症例検討会として、運動器障害系（受付終了）を6月16日（日）、内部

障害系を9月15日（日）、神経系を12月15日（日）、にそれぞれ開催いたします。これらの検討会はZoomを用いたオンラインで開催予定です。詳細についてはこれからお知らせいたしますので、本会のLINEやHPをご確認ください。



前期実地研修について
(PT協会HP)



実地研修マニュアルについて
(PT協会HP)



生涯学習制度の履修に関する案内
(県士会HP)

活動報告Ⅳ 生涯学習部

神奈川県理学療法士会生涯学習部主催講習会のお知らせ

Zoomシステムを用いたインターネットによる生配信、録画配信での講習会を複数回、予定しております。

詳細は調整中ですが、決定次第、日本理学療法士協会マイページ等に掲載いたします。

御確認の上、ふるって御参加くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先

(公社) 神奈川県理学療法士会 生涯学習部

E-mail: shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp

お問い合わせはメールでお願いします。

「発達支援部 ヨコハマプロジェクト ツナガリウォーク2024」 取材報告

2024年4月28日（日）横浜市中区山下町にある山下公園で開催されました「ヨコハマプロジェクト ツナガリウォーク2024」イベントにお伺いしてきました。ツナガリウォークはダウン症のある人との出会いをきっかけに「障がいのある人もない人も同じ体験を通してつながり、共に楽しい時間を過ごせること」を目的にしたウォークイベントです。2015年から開催され、9回目の今年はイベント全体では5,000の方が参加されたようです。

当会から発達支援部が参加、ブース展示を行いました。来場者の方に、足を汚さず押せる足型スタンプと足の計測を行い、記念に押した足型をプレゼントされていました。また、メインのイベントでは、みんなで公園内を歩くツナガリウォークが行われ、非常に多くの方が自分のペースでゆっくり公園を1周ウォークしていました。

発達支援部として3回目の参加でした。参加者の方々からは「足のサイズも図ってもらえて、嬉しい」などの声や、「こどもの足の症状や靴の選び方で困っているけど、どこに相談していいかわからない」などの意見もいただきました。足型スタンプを楽しみながら、こどもの足と靴の相談に理学療法士として対応しました。当日はゴールデンウィー

ク中、快晴にめぐまれた天候の中多くの方が来場していただき、185人分の足型スタンプと足の計測をしました。来年はツナガリウォーク10周年となるようです。次年度も神奈川県理学療法士会のホームページでもご案内いたします。とても楽しいイベントですので、ご興味のある会員の皆様も、是非ツナガリウォークに足を運んでみてはいかがでしょうか。

発達支援部の先生方、暑い中お疲れ様でした。



2024年度新人オリエンテーション 開催報告

令和6年5月12日（日）、平成31年以来の対面形式にて新人オリエンテーションを開催し、150名を超える新人理学療法士の皆さんにお集まり頂きました。

内田会長をはじめ7名の講師の方々に、県士会の組織や活動状況の他、生涯学習システムの概要や入会方法についてお話し頂きました。今回は、次回の神奈川県理学療法士学会の案内や、日本理学療法士協会の団体保険の説明もあり、盛りだくさんな内容となりました。また、公益社団法人日本理学療法士協会の政策参与であり参議院議員でもある田中まさし氏、神奈川県理学療法士連盟の顧問でもある神奈川県議会議員の田村ゆうすけ氏

から、ご祝辞を賜りました。

業務の都合などで当日参加出来なかった方も、講義の資料は県士会ホームページからご覧頂けます。また、神奈川県理学療法士会のLINEアカウントも開設されていますので、新人の方だけでなく既に会員になられている皆さんにもご活用頂けます。ご登録、よろしくお願い致します。

末筆ではありますが、新人オリエンテーションの案内をご周知くださいました各施設の責任者の皆様をはじめ、運営に多大なご協力いただいた県士会事務所の皆様・役員各位・各部の担当者の皆様に心より感謝申し上げます。来年度の開催も、どうぞよろしくお願いいたします。



内田会長



会場の様子

快足 インソール

Kai Soku Insole

特許取得済み

特許7095847号

国際特許申請済み

★ 清潔な抗菌・防臭仕様 ★

自分の足形がすぐに採れて 歩行を快適にサポート!

- ▶ 特許技術で、自分に最適な足形のインソールが簡単に作れます
- ▶ 足にバランス良く圧力をかけられる理想的なアーチを作り、バランス能力・運動機能をサポート
- ▶ 電子レンジで再度加熱し、足形を作り直せるサステナブルなリユース可能商品
- ▶ S(22~24cm)・M(24~26cm)・L(26~28cm)の3サイズをラインナップ

本商品は医療器具ではありません。ケガや疾病の予防や改善を謳うものではありません

● 発売元

GSI Creos

株式会社クレオス アパレル部

TEL.06-6944-2626

<https://www.gsi.co.jp>

● 企画元

NASAHI

株式会社旭無線

カンタン! 自分だけのインソールがすぐできる!

1

「快足インソール」を電子レンジで使用するシューズの中に500W・50秒加熱します

2

「快足インソール」を入れます

3

シューズを履きスクワットし、体重をかけ自分の足型を作成

商品詳細は
こちらから

会長行動報告

報告期間 令和6年（2024年）3月1日～令和6年（2024年）5月31日
当該期間の会長職務の執行状況を報告します。

3月	3日（日）	JRAT 報告会	Web
	6日（水）	神奈川県病院学会学術委員会	県総合医療会館
	7日（木）	第12回常任理事会	Web
	8日（金）	学校法人湘南ふれあい学園卒業式	茅ヶ崎市民文化会館
	13日（水）	神奈川県三士会長会議	Web
	27日（水）	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web
	28日（木）	第7回事業運営会議	Web
4月	1日（月）	事務職員への給与改定通知書交付	事務所
	4日（木）	第1回常任理事会	Web
	5日（金）	会計処理検討会議	Web
	7日（日）	日本理学療法士協会組織運営協議会	Web
	12日（金）	神奈川県健康医療局長・医療課長と面会	県庁
		本会事業運営の打ち合わせ	湘南藤沢徳洲会病院
	19日（金）	田中昌史先生政経セミナー	憲政記念館・永田町
	23日（火）	臨時常任理事会	Web
	24日（水）	共同研究打ち合わせ	県立大学
5月	25日（木）	第1回事業運営会議	Web
	1日（水）	相模原みなみ整形外科座間相武台前院 井澤院長と打ち合わせ	Web
		神奈川県病院協会 50周年記念式典・祝賀会	横浜ベイホテル東急
	2日（木）	第2回常任理事会	Web
	8日（水）	全国士会運営勉強会（士会長会議）	Web
	10日（金）	横浜市委託事業に関する打ち合わせ	Web
	12日（日）	監事監査会	事務所
		新人オリエンテーション	神奈川公会堂
		神奈川県理学療法士連盟顧問ほか県議会議員との懇談会	横浜
	14日（火）	第1回理事会	Web
	15日（水）	本会派遣事業について事務所と打ち合わせ	Web
	17日（金）	本会派遣事業および給与規程について打ち合わせ	Web
	20日（月）	酒井医療株式会社神奈川営業所長と顔合わせ会	県立大学
		日本理学療法士協会議事運営委員会	Web
	22日（水）	神奈川県医療専門職連合会監事監査 神奈川県医療専門職連合会理事会	事務所 Web、事務所
	29日（水）	第3回常任理事会	Web
	30日（木）	ニューレジリエンスフォーラム全国大会	日本武道館

理学療法技術講習会 身体運動学と理学療法

テーマ：身体運動学と理学療法

内容：本講習会では、肩・股・膝関節を中心に運動学について講義し、それらの運動学に基づいた理学療法の理論と技術について講習する。具体的には、筋の運動学と機能、筋力低下の原因と筋力評価、筋力トレーニングの原則、肩・股・膝関節の運動学、関節の機能評価とトレーニングの実際、肩・股・膝関節のストレッチングの実際、下肢の筋力トレーニングの実際等について講義・実習を行う。

開催日時：2024年8月3日（土）・4日（日）

1日目 9:30（開始）－2日目 17:50（終了）計 16.5 時間

会場：京都大学医学部人間健康科学科

受講料：20,000 円（講習会資料冊子を含む）

講師：市橋則明・建内宏重（京都大学大学院医学研究科）

定員：48 名

問い合わせ先：

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
八木 優英

（TEL：075-751-3948,

E-mail：kyoto.pt.seminar.kinesiology@gmail.com）

第29回日本基礎理学療法学会学術大会

テーマ：Toward Meta-Physiotherapy

内容：第 29 回日本基礎理学療法学会学術大会は、テーマを Toward Meta-Physiotherapy としました。

近未来の理学療法を高次にあるものと位置づけ、その高次の理学療法、または理学療法に関連した社会システムのありようについて討論し、考え、今よりも先にある世界へ向かうきっかけになる場にしていただきたいと考えています。

「特別講演 2 演題、教育講演 7 演題、シンポジウム 5 演題を企画し、幅広いト

ピックをとりあげました。本学会が、「基礎と臨床の橋渡し」の場として参加者の皆様に有益な場となれば幸いです。

開催日時：2024年10月12日（土）～10月13日（日）

会場：東京都立大学 南大沢キャンパス

〒 192-0397 東京都八王子市南大沢 1 丁目 1

お問い合わせ：

第 29 回日本基礎理学療法学会学術大会
運営事務局

Tel：076-461-7028 / Fax：076-471-0745 /

E-mail：29jptf_congress@pcojapan.jp

日本理学療法士協会会員証・協会マイページログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。

今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要なになります。携帯する様にお願いします。



紛失・破損等による再発行は、**有料（500 円税別）**となりますので、ご注意ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

＊「ID・パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。

＊会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問合せをお願いいたします。

年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済にご利用可能なブランドは次のとおりです。（決済手数料負担なし）

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club

＊日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。

＊口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

＊いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

SP-i 湘南義肢研究所



神奈川県で半世紀
これからも気分の上がる装具をお届けします！

最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27 TEL 046-822-6722 <https://www.sp-i.net>

整形靴から義足、車いすまで



編集後記

この編集後記を作成していた6月3日の朝方にもスマートフォンから緊急地震速報が鳴り響き、石川県能登地方を震源とする震度5強の地震がありました。令和6年1月1日に発生した能登半島地震から約5ヶ月、様々な支援活動が進む中での余震に驚きと恐怖を感じました。被災された方々が1日でも早く、笑顔を取り戻せるように私たちも微力ながら復興支援に協力していきたいと思います。

今回の県士会ニュースの巻頭言は神奈川 DWAT として災害支援を行うために石川県輪島市へ赴き、活動を行った前田先生の経験談を掲載させていただきました。前田先生がおっしゃるように被災した方々が困っていることや必要な支援が何かを把握し、支援することは非常に重要だと思います。しかし「福祉ニーズの解決」という課題の解決には中・長期的な関わりが必要であり、シームレスな情報のやり取りも重要だということに改めて気づかせていただきました。また、理学療法士が行う治療や支援は「対象者ひとりひとりに対して医学的・社会的視点から身体能力や生活環境などを十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成する」とされています。今後の生活を見通して個別にサポートしていくのが我々理学療法士の仕事であり、使命だと感じています。前田先生のように災害対策活動に興味や関心を持つ理学療法士が少しでも増え、被災者の支援に繋がっていくことを切に願います。

(KPA ニュース編集係 上垣 亮太)



神奈川県理学療法士会の
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの
重要な情報を LINE でお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



友だち数 1,104

・ニュース編集係員・

担当理事：西田 友紀子

(川崎幸病院)

係 長：武田 正一

(横浜リハビリテーション専門学校)

委 員：上垣 亮太

(横浜リハビリテーション専門学校)

須藤 ゆかり

(横浜リハビリテーション専門学校)

次号の原稿締め切りは**2024年9月1日**です。

岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校

理学療法学科 (ニュース編集係宛)

news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。

円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いいたします。